こどもサポートルーム　カーサ　放課後等デイサービス自己評価票

		チェック項目	評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員かが指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	設置基準等につきましては、関係法律に基づいて、適切に運営を行っております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○	配置基準につきましても、関係法律に基づいて、適切に人員配置を行っています。また、職員は全員、常勤・正社員として勤務していますので、毎日、同じスタッフが配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	×	建物の構造上、バリアフリーには対応しておりません。車椅子の方などにつきましては、事前に見学の上ご利用をお願いしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	業務改善につきましては、管理者を含めて、全職員で話し合いの機会を持っています。また、職員が改善提案しやすいように心がけています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなけげているか	○	今回の自己評価表作成を踏まえて、保護者の皆様にも、アンケート調査をお願いしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	自己評価票の結果につきましては、事業所のホームページで公開を行っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	○	ご家族を含め、関係機関といった外部からの意見やアドバイスをいただくことで、適切な運営を行うように取り組んでいます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	定期的に社内研修を行っており、職員の意識や支援技術向上を図っております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービスの計画を作成しているか	○	児童発達支援管理責任者を中心として、すべての職員が参加した会議を開催し、適切なアセスメント、ご本人並びに保護者のニーズに基づいた計画の作成を行っています。
	⑩	子どもたちの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○	事業所で規定した、アセスメントシートに基づく評価を行っています。また、日頃の記録を適切に残していくための記録システムの導入も行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	その時々のこどもたちの状況に応じて、職員全員が話し合いに参加して課題設定や目標設定に基づく活動プログラムを行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	活動については、こどもたちひとりひとりの課題に応じた活動を行うことを心がけています。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	個別支援計画を作成して、個別の目標設定に応じた支援を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	まずは本人とご家族との面談を行った上で、お子様の状況に合わせた個別支援計画の作成を行っています。ご家族同様に、本人にもその内容を説明しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	平日は、午前中に打ち合わせを行います。休日・長期休暇中は、朝が早いので、前日の夜に行います。当事業所は、原則、全職員が出勤しますので、情報共有も行いやすい体制です。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	打ち合わせはもとより、開設時より、ウェブベースによる最新記録システムを導入することで、すべての職員が記録にアクセスして気軽に情報共有を行うことが可能となりました。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	当事業所は、職員のそれぞれの見立てを重視するため、職員全員で分担して記録を行なっており、様々な専門分野の視点での記録を残すようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに必要性を判断しているか	○	個別支援計画の作成に関しては、すべての職員が参加したケース会議を行った上で、モニタリング、個別支援計画の作成が行われます。その都度、本人や保護者の意見を聞き取り、反映させています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○	利用する子どもの状況に応じて、様々な活動を行っています。事前準備を行っての活動もあれば、その日の状況で取り組む活動を行います。
関係機関や保	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	原則、事業所内での子どもたちを把握している職員が参加します。すべての職員が、専門的視点を持って会議に参加できるような体制作りに取り組んでいます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	送迎時には、できる限り学校での様子をお伺いするようにしています。日頃から先生との信頼関係の構築に心がけています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△	指定申請時の県との協議により、医療的なケアの必要なお子様をお預かりしていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	当事業所は、高学年専門の事業所として指定申請を行なっているため、就学前に利用していた保育所等の関わりはありません。並行利用している事業所との連携は積極的に図っております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	計画相談支援事業所や障害者就業・生活支援センターといった関係機関と連携を図りながら、率先して協力していくようにしています。

護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	実績はまだありませんが、様々な関係機関との連携は積極的に図っていきたいと思います。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	支援目的が社会適応訓練のため、企業見学や就労体験、事業所見学といった活動を行っています。また子どもたちが地域に出向き、大人や子どもたちとの接点をもつ機会を提供できるようにしています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	△	参加依頼があれば、積極的に関わりを持つようにこころがけていますが、現在は、参加要請等もなく実績はありません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	子どもの状況については、直接職員による報告や、電話・連絡帳を通して、面談や訪問等を通して、課題や今後の支援方針などをお伝えするようにしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	○	保護者との面談を通して、保護者の悩みや対応に関する相談を行っています。ご本人の成長を促す上でも、保護者との関係を重要視しています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	○	契約時には、できる限り詳しく説明を行うようにしています。また、普段からシンプルな運営を心がけ、難しい説明を行わなくてもよいサービス提供体制を行っています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	○	相談については、面談や電話、メールなどを駆使し、相談し易い環境を作っていきます。必要に応じて、適切な支援機関や支援者におつなぎします。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者も参加できるイベントを開催したりすることで、保護者同士の接点をつくるようにしています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	これまでの運営上の経験を踏まえ、苦情体制については第三者委員も含めて細やかな整備を行っています。顧問弁護士による法的な対応体制も構築しています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	月の予定については、事前にご案内を行っています。HP内のブログを利用したり、連絡帳を利用して、活動の様子をお伝えするようにしています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○	個人情報につきましては、法律に基づいて適切に運用を行っています。契約時には、個人情報（画像等を含む）をどこまでをオープンにするかといった同意書への署名をお願いしています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	その子どもの特性に合わせた伝え方を心がけていますが、まだまだ不足している面があるかもしれませんので、今後も積極的に取り組んでいきます。

	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	×	まだ地域住民を招待した実績はありませんが、こちらから地域の行事に出向くような機会を増やしていければと思っています。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、防犯マニュアルの作成を行っております。マニュアルでカバーできない部分についても、お子様の安全を最優先に対応を行っていきます。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	避難場所、避難経路の確認、災害時の対応などは、職員間でマニュアルを通して把握しています。訓練については、緊急時対応マニュアルに即して行っています。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	○	虐待防止研修は、全体研修の中で定期的に行っています。昨今の社会情勢も鑑み、虐待防止には積極的に関わっていきます。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体拘束については、身体拘束に関する研修を行うとともに、毎回の記録にも身体拘束に関する欄を設けて、職員の意識向上に努めています。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	△	現在、アレルギー疾患によるアナフィラキシーの可能性がある子どもをお預かりおりませんが、必要に応じて主治医による対応方法の説明、確認を行い安心してご利用いただけるように努めます。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット事例を作成、集約しており、研修等で利用を行っています。

○ できている
△ どちらでもない
× できない

令和５年３月作成